第　18　号
金沢商業高校図書館だより
平成25年7月3日（水）

木蓮（もくれん）

稲光は豊作のしるし

暑い夏の日、一天にわかにかきくもって電光がひらめき、雷鳴がとどろくことがあります。発達した積乱雲によって、電光や雷鳴とともに、強い雷雨が急に降り出します。「電光石火」は稲光と火打石が発火する火のように、きわめて短い時間のことで、動作の非常にすばやいたとえに用いられます。また「光ほど鳴らぬ」は電光が激しいわりに雷鳴が小さいケースがあることから、うるさい人はやさしい一面を持つことをいいます。歌舞伎「村井長庵」の５幕に「雨の降らねえのに光るのは豊作の証しだ」「稲光がござりますとよう実がいると申します」という会話があります。これは「雷と稲光は稲をよく育てる」ということわざをふまえたセリフでしょう。

家族や先生方が時に厳しくカミナリを落とすのは、みなさんが大きく育つことを願ってのことです。金商図書館もあなたが大きくなるよう良書を用意しています。

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮（もくれん）」をお届けします。

新着雑誌

『ＳＣＲＥＥＮ』

・カンヌ映画祭のすべて
・マーティン・フリーマン大解剖
・最高の夏映画 WEVE がやってくる！

●創刊 60 年近くの日本を代表する洋画雑誌です。海外の最新作話題作をいち早く紹介、充実の洋画雑誌。

図書委員がすすめる 読んで得するテッパン本

『相棒 season9』　輿水泰弘ほか著

杉下右京と神戸尊が、失われた絵画に秘められた謎を追う「最後のアトリエ」、15 年前に起きた殺害事件を調べ直すうちに、思わぬ事実が洗い出されてくる「過渡期」、など、７篇を収録した大人気シリーズ第９弾。「相棒 season8」に出演した井上和香による、撮影時のエピソードを交えた解説も必読!（34H 寺澤・荒井）

『リアル鬼ごっこ』　山田悠介著

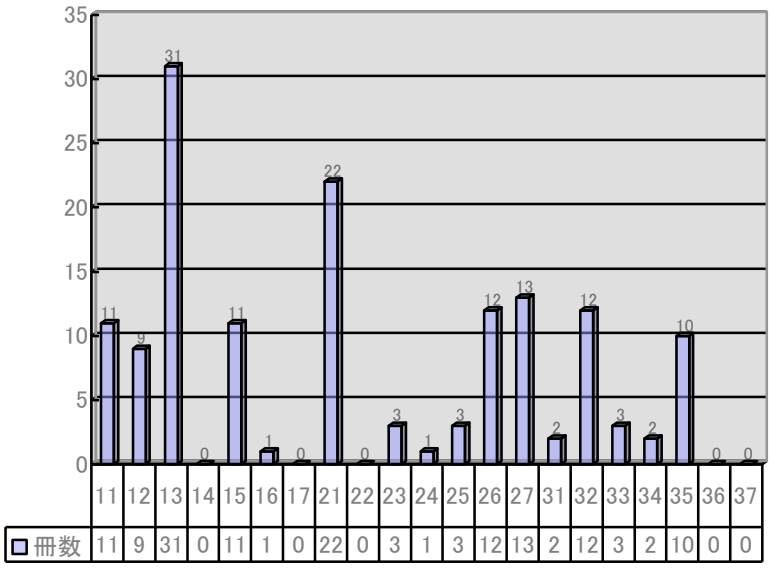
自分勝手でわがまま、優柔不断で何一つ満足にできない王様は、全国の佐藤さんを捕まえて処刑する『リアル鬼ごっこ』の計画を発表。大学生の佐藤翼は、ゲーム終了まで生き残ることができるのか？自分自身も主人公になったような気持になり、とてもハラハラします。

（３５H 川畑）

『エミリー・ザ・ストレンジ』 コズミック・ゼブリ著

エミリーと４匹のねこを中心としたシュールで独特な世界が描かれています。絵本ですが内容は大人向け。宇多田ヒカルが翻訳したものだけあって、歌詞のような文章です。（35H 石

図書館利用統計【6月1日~6月30日】



６月の図書貸し出し総数は 147 冊でした。開館日数は 19 日で、１日平均にすると約 7.7 冊の貸し出しです。学年別では３年生が 29 冊、２年生が 55 冊で、１年生は 63 冊でした。入館者の総数は 1,788 人で、１日平均約 94 人の利用でした。図書館での授業は９時間ありました。総体や考査の関係からか、貸し出し数が落ち込みました。いよいよ夏本番！読書の時間をキープしましょう。

報告　*文化講話*

～POP のﾁｶﾗ～を開催しました!

6 月 14 日(金)放課後に講師の北国書林山千春さんを迎え POP 講習を開催しました。参加者は３５名でした。「楽しかった」「POP ってスゴイと思った」などの感想がありました。作品は図書館に展示してあります。是非見て下さい。